

「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」ニュース 43

発行：「CSR & コンプライアンス研究フォーラム」 広報委員会
〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階
TEL 03(3504)9800 FAX 03(5157)3180
E-Mail csm-hq@eco-texj.co.jp

向夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

研究フォーラム・ニュース 43 号を配信させていただきます。

<5 月 28 日木曜、第 37 回フォーラムセミナーが開催されました>

近藤事務局長から近況とご挨拶のあと、社団法人 プラスチック処理促進協会・総合企画室部長・技術開発部部長・田中保巳氏から「カーボンフットプリント制度について」のご講演をいただきました。



はじめに“カーボンフットプリント（CFP）”とは「商品やサービスのライフサイクル全体（資源発掘から廃棄・リサイクルまで）を通して排出された温室効果ガス（GHG）を CO₂ 量に換算し表示したもの」であること、商品の CO₂ 排出量が表示により見える化することで、事業者は CO₂ 排出量が多い行程や非効率的な行程を把握することができ、効率的な削減が可能となり、また消費者は CO₂ 排出量を自覚することで排出量を考慮した商品選択や排出量の少ない消費方法を取り、削減に努力することにつながるといった CFP 制度の意義を説明された後、この制度の海外状況についてふれていただきました。

イギリスでは政府が設立したカーボントラスト社により 2007 年からパイロットプロジェクトを開始していること、そこでの GHG 排出量算定規格「PAS2050」の概要と計算の仕組みと CFP 表示要件ガイドライン「Code of Good Practice」について解説。フランスでは環境エネルギー管理局関与のもと適正行動規範策定や環境情報の一般消費財への表示の義務化の法案策定をすすめており、ドイツ環境省でも排出量算定方法の策定取りまとめなどを開始していると説明。さらに 2011 年に CFP 制度国際規格の ISO 化も進められているとの話されました。

これら海外の動向に対し、日本での CFP 制度検討の背景、状況を報告いただきました。

経済産業省は有識者 7 名と 27 社・団体で構成される CFP 実用化・普及推進研究会を立ち上げ、算定・表示のありかた、表示の信頼性担保のシステムのありかた、制度普及への課題の整理を始めている様子を説明。

2009 年 4 月から三カ年にわたり開始された CFP 試行事業への取り組みを具体的に説明され欧州 3 国と日本の取り組み比較解説をされました。

昨年末開催の「エコプロダクツ 2008」展などを含めた CFP に関わる消費者受容調査では、その認知度はまだ低いものの、一度知ればその目的は理解され易く、GHG 削減に有効であるという評価が 8 割以上あり、価格が同程度であれば CFP 表示商品、CFP の少ない商品の購入意欲があることがなどの結果報告があることに言及されました。

さらに、現時点、日本での CFP 算定・表示基準と PCR（商品種別算定基準）の各指針について細かく説明をされ、最後に CFP 制度が低炭素社会に向けた有効なツールであり一方、制度を浸透させるための普及啓発活動の必要性、制度の信頼度を増すための精密なルール・データづくり、消費者の低炭素社会への意識と冷静な対応など課題があること話され、講演をまとめていただきました。

<次回、第 38 回 フォーラムセミナー開催のお知らせ>

日時 2009 年 7 月 9 日木曜 14:00~17:00 (17:00~懇親会)

1. 講演「製品含有物質の世界の潮流とその対応としても YFGP」

YKK 株式会社 ファスニング事業部

品質情報センター 品質保証室

室長 野坂武志氏

2. 講演「これまでの 30 年、これからの 30 年」

東京工業大学名誉教授

CSR&コンプライアンス研究フォーラム顧問

清水二郎氏

3. CSR 関連情報および事務局連絡

セミナー終了後 17:00 より懇親会

編集後記

- ・ 前掲載にあります「カーボンフットプリント制度について」の講演では、これまで各種の新聞雑誌情報では得られない貴重で、わかりやすい説明をさせていただきました。
当然のことながら読むよりも聴くことの正確さを実感。
- ・ 前回のセミナーで CSR 関連情報として取り上げました YFGP (YKK ファスニング・グリーン調達) システムについて、早速講演をお願いしたところお引き受けいただき、前記ご案内にありますように 7 月 9 日第 38 回セミナーでご講演いただけることになりました。また更に実状を聴けることを期待。
- ・ また、9 日セミナーの後半では当会顧問・清水先生に「これまでの 30 年、これからの 30 年」と題して講演をいただきます。これまでも他の会で同名課題の講演をされていますが、更に深化した内容を準備されていて、先生独自の視点で、元気のお話が聞けることになると思います。

以上